情報化施工

国交省試行工事でアンケート

へのアンケートを行って | 2期目の情報化施工推進 | り組みを設定。情報化施 施工を公共工事全体に普|探る。民間事業や海外で| 国土交通省は、情報化 | えた管理方法の改善策を | る。 |の情報化施工の活用状|の5カ年で第1期戦略を|に実施してきた試験施工 | 戦略に基づく建設生産シ | 工の特性を踏まえた技術 | 度から5カ年で実施する | り、新たな重点目標と取 |調べて参考にする。13年|戦略がスタートしてお | 沢、他産業の技術動向も | 展開。本年度に2期目の 国交省は、8~12年度

化施工技術の特性を踏ま一ステムの高度化につなげ一基準類の見直しや人材育

一般化。3年後をめどに一

一で生じた課題を挙げても一果を一段と高めるための一る。

これらの調査を通じ

|月5日まで受け付け、審

示した。 企画提案書を7

|業務」として委託先を決

産システムの高度化検討

施工の活用による建設生

| 査を経て委託先を選定す

効果と課題を抽出。情報

職員・検査職員と受注者 試行した直轄工事の監督 取り組む。情報化施工を 及促進するための検討に

年度からトータルステー |事の出来形管理技術を| |1万立方が以上の土工工|入れたことによる施工の |ション (TS) を使った |の実績などを踏まえ、13 成を進める。 新戦略では、これまで |効率化などの効果と現場||て、情報化施工の導入効

実施。情報化施工を取り | 受発注者にアンケートを | 業での技術動向も把握す | める企画競争を19日に公 |13年度分で約300件の |12年度分で約200件、 した直轄工事を対象に、 り組むことにしている。 や実用化検討技術を試行 本年度、一般化推進技術 検討を行う「実用化検討 技術」や実用化に向けた 般化を図る「一般化推進 技術」を選定し、普及に取 普及に向けた検討では る。 する。 効果や課題を整理・分析 |分約800件を抽出し、 |後に提出してもらった活 造業や農業といった他産 活用状況や技術動向、製 で行われる情報化施工の 度分約100件、13年度 さらに民間事業や海外

|用実績報告からも、12年|法にとらわれない情報化 | らう。情報化施工の実施 |目や方向性を整理する。 一題を洗い出す。従来の手 施工技術の特性を踏まる 施工管理や品質管理の課 た施工管理方法の改善項 調査などの業務は外 「平成25年度情報化

朝 平成25年 6 月 20日

【建設ICT】

1. 日 経 4. 読 売 7. 産 経 10.中部設通 13.建設工業 2. 朝 日 5. 岐 阜 8. 静 岡 11.建 通 14.信濃毎日

夕) Ρ 2

3. 毎 日 6. 中 日 9. 伊 勢 12.日刊工業 15.日本海事